

【合言葉】
チャレンジ

学校教育目標 **たくましく 心豊かな生徒の育成**
＜校訓＞ 自主・自律・自治

あいさつ
合唱
掃除

本年度の重点

自己肯定感を育むために、主体性と共感性を磨く

めざす学校像

生徒が主体となる学校
誰もが過ごしやすい学校
活力があふれる学校
誇れる活動がある学校

めざす生徒像

互いの違いを認め合い、仲間を大切にする生徒
いじめや偏見・差別を許さない生徒
よい結果を求めて、進んで学習や活動に取り組む生徒
目標の達成に向けて、粘り強く取り組む生徒

めざす教師像

生徒と共に活動に取り組む教師
生徒の声を傾聴し、共に最適解を見出そうとする教師
生徒の学びを保証する授業作りに努める教師
生徒の成長を願い、保護者や地域と連携し、信頼される教師

学級・学年経営及び生徒会活動の充実

①生徒主体の活動

- ・学校生活を充実させるために、生徒の意見を反映した活動を企画し、実行する。
- ・学級・学年目標を具現化するために、班長会や学級委員会が主体となって取り組む活動を創造する。

②共感的な人間関係

- ・ひびきあい活動を通して、他者理解を推進し、多様性を尊重する文化を醸成する。

③小泉中3本柱を基盤にした活動

- ・小泉中学校の文化創造のために、「あいさつ」「合唱」「掃除」を軸にした活動を仕組む。

学び続ける生徒の育成

①個別最適な学び(指導の個別化と学習の個性化)

- ・生徒の特性や到達度等に応じて、指導方法や教材等の柔軟な提供や設定するとともに、生徒自身が個に応じた学び方を選択する。

②協働的な学び

- ・探究的な学習や体験活動等に限らず、普段の授業においても、多様な他者と協働しながら課題解決に取り組む。

③「できた」「わかった」を実感する授業

- ・主体的な学びのために、ICTを活用する。
- ・すべての生徒の学びを保証するために、授業のユニバーサルデザイン化を図る。

生徒を支える指導・支援の充実

①主体性を磨く

- ・生徒を“人生の当事者”にする。
- ・結果にこだわるのではなく、良い結果を得るために精一杯取り組むことにこだわる。
- ・共有しやすい目標とシンプルな手立てを設定する。
- ・取り組んだ成果を生徒にフィードバックする。

②共感性を磨く

- ・生徒理解の感性をアップデートする。
- ・困り感を多面的に捉え、多角的な支援を行う。
- ・『小泉中宣言』を念頭に置いた教育活動を通して、人権意識の高揚を図る。
- ・デジタル・シティズンシップ教育を充実する。

小泉中学校運営協議会「先生が変わっても持続可能な教育活動の充実」

- 地域社会の活性化に貢献する「地域社会人」の育成
- 3つの支援部会による地域との連携を強化(教育目標や課題の共有・解決)
- 小泉ボランティアズによる主体的な地域貢献活動への挑戦